

和 気 品
合 魄 位

高島市立マキノ中学校



学校だより

文責：校長 清水

「 命 の 尊 さ 」

「命の尊さ」について考えることをねらいに、それぞれの発達段階に応じて性教育を2月5日に実施しました。1・3年生は、浮田医院の助産師さんを講師に招いて行い、2年生は、本校の職員で授業をしました。下に紹介している文章は、生徒の振り返りシートをまとめたものです。ご一読ください。

【 1年生 命の誕生 】

「命をつなぐこと」「人が生まれること」。そこには、たくさんの奇跡があると知りました。わたしたちの命は、「250兆分の1」で誕生したと分かり、毎日毎日を大切にしていきたいと感じました。これからつらいことや悲しいことがあるかもしれませんが、一生懸命に生きていきたいと思います。



「赤ちゃん人形を抱っこする様子」

【 2年生 多様性 - LGBT を通して - 】

世界にはいろいろな人がいます。100人い

たら、100通りあっていいと分かりました。思いや考えていることは、人それぞれで、「〇〇君は、こうだ」と言っているから、自分も「こうだ」という必要もないと思いました。また、自分の価値観を相手に押し付けてはいけないとも思いました。自分は親切なつもりで言葉をかけていても、相手は傷ついているかもしれません。だから、一つ一つの言動にも注意したり、お互いを認め合ったりしていきたいです。そして、「普通・あたり前」という価値観や固定観念に縛られず、人を見かけで判断しないようにしていきたいです。

【 3年生 自他の尊重 】

命の尊さや相手を尊重することの大切さを学びました。相手と対等な関係を築くためには、個性を馬鹿にしたり一方的な言動をしたりするのではなく、お互いの気持ちを伝え、話し合うことが大切だと思いました。また、支え合うことは、お互いを守ることにもつながります。これからは、自分の気持ちも相手の気持ちも大事に考えて、対等な関係を築いていきたいです。

「250兆分の1」で生まれた命は奇跡的であり、しかも誰もがそうです。生まれてきたことに感謝し、お互いを尊重していきたいです。

生徒会アルミ缶回収-募金活動-

生徒会生活環境美化委員会が中心となって、期間を設けて、アルミ缶回収をしています。前期と後期の収益金を能登半島の震災への寄付金にしようとして取り組んでいます。持続的にできることからしていく生徒たちのパワーや優しさ、献身的な姿に感心しています。ご家庭の方や地域の方々にもご協力いただきありがとうございます。



「朝のアルミ缶回収の様子」

全国の大会で活躍するマキ中生

2月6日から2月9日まで、全日本中学校体育連盟主催のスキー大会が、長野県野沢温泉スキー場で行われました。本校からは、アルペンの部で、2年生の小川隼さん、クロスカントリーの部で3年生の杉本祐斗さん、馬場敦広さんが出場しました。また、2月18日から2月25日まで行われた国体(山形県坊平高原クロスカントリー競技場)では、クロスカントリーの部で、先に挙げた3年生の2名の他、3年生の上川光翼さんも出場し活躍しました。



「アルペンの部」



「クロスカントリーの部」

第4回学校運営協議会より

2月15日に第4回学校運営協議会を実施しました。今年度の教育活動を振り返ると



「避難所について説明している様子」

ともに、生徒の様子や避難所となっている本校の体育館を見てもらいました。一人ひとりが自分の役割を、責任をもって果たす生徒の様子や、2月15日に吉村薬剤師を招いて実施した「くすりの学習」のように、外部の講師の方を招聘して総合的な学習の時間や保健体育等学習を進めていること、マキ中収穫祭や地域貢献活動、教職員と運営委員の他に生徒や保護者の代表の方と交流した第2回拡大学校運営協議会、さらに校内マラソン大会や部活動等について、話題が広がりました。今後も社会に開かれた学校をめざしたいと考えています。

3月の行事予定

- 1日(金) 体育館ワックスがけ
- 6日(水) 滋賀県立高等学校一般選抜
2年学力確認テスト
- 7日(木) 3年生を送る会取組開始
- 11日(月) 3年同窓会入会式
卒業式予行・前日準備
- 12日(火) 第76回マキノ中学校卒業式
- 14日(木) 生徒会の日
- 19日(火) 大掃除
- 21日(木) 給食終了
- 22日(金) 修了式
- 25日(月) 春休み